

国際
交流

ボランティア

ぼろんていえ

Volontiers!

2018年11月

Vol.107

【編集/発行】

(一財)町田市文化国際交流財団
町田国際交流センター

～町田国際交流センターだより～

子ども山車巡行 (町田天満宮秋季例大祭)



9月23日(日)、今年も町田の町内会「原町田六生会」主催の「子ども山車巡行」に参加いたしました。町田天満宮秋季例大祭には珍しく、2日間とも雨の降らない週末。山車巡行開催の日曜日は汗ばむくらいの陽気でした。中国、台湾、フィリピン、日本国籍の6名の子どもと親御さん、スタッフ9名で参加しました。子どもたちはハッピーを身にまとい、かわいく写真に収まりました。「わっしょい!」のかけ声とともに、山車で商店街を練り歩き、途中の休憩地点で町内会からご提供の飲み物やお菓子を頂きました。参加のスタッフの感想です。「子ども山車巡行に参加した親御さんに、日本の伝統文化や行事の理解のため、例大祭・みこし・山車などの由来を説明する機会があれば、と思いました。」私たちの楽しみが、国際・地域・文化交流の一助になっていれば嬉しいです。

交流部会 藤原 月子



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで (詳細▶5面)



KOKUSAI インタビュー

INTERVIEW

セリーロ フェルナンデス さん (Cerilo Fernandez)

Q ご出身はどちらですか？

フィリピンのダバオ市です。2000年5月にALT（外国語指導助手）として日本に来ました。最初は静岡で仕事をして2004年に町田に来ました。

Q 故郷のダバオはどんな町ですか？

フィリピンで3番目に大きい都市です。とても進歩的で安全できれいな町です。現在の大統領もダバオ出身なんです。ダバオ・パール・ファーム・ビーチという美しいビーチや、たくさんのフルーツが獲れることで有名で、特にポメロ（グレープフルーツのような味）、ドリアンは美味しいです。

8月には「カダヤワン・フェスティバル」という花とフルーツの大きなお祭りがあって、皆でダンスを踊ったりパレードをしたりします。

Q 日本の印象はいかがですか？

町はきれいだし、規律正しいし、食べ物がおいしいですね。

Q 子どもたちに英語を教える仕事はいかがですか？

すごく楽しいですよ！今まで10校以上の小学校で教えました。今は町田第五小学校と南大谷小学校で教えていますが、子どもたち、先生、事務の方みなさんやさしくて親切です。給食も大好きで毎日楽しみにしています。でも納豆だけはムリです！（笑）昔は英語がわからない先生も多かったのですが、今はどの先生も英語を話せるので困ることもなくなりました。

Q 国際交流センターでもフィリピン語の講師をされているんですね。

月に2回ですが、こちらはおとなのクラスで17名ぐらいの学習者がいます。ことばを教えるだけではなくフィリピンでの経験や文化について話したりしています。みなさんまじめに休まないで来てくれるので本当に嬉しい、ハッピー！です。

Q 町田に住んでみてどうですか？困ったことなどありませんか？

本当にいいところ！ 買い物、病院、教会、すべてがそろっていて、とても便利で住みやすいですね。郵便物が読めなくて困った時も日本人の友だちがすぐに助けてくれるし、町田が大好きだからずっとここに住んでいます。フィリピン人の友だちもみんな町田が好きですよ。国際交流センターは外国人を応援してくれるので助かります。

終始笑顔で、英語と日本語の両方でインタビューにこたえてくださったセリーロさん。英語の時はゆっくり、わかりやすく話してくれる気遣いが印象的でした。これからも子どもたちのためにがんばってくださいね。どうもありがとうございました。



笑顔のセリーロさん

国際理解部会 講演会「新中国に継承された満洲国の産業」

9月2日（日）に「新中国に継承された満洲国の産業」と題して講演会を開催しました。昨年7月に行った国際交流センター講演「日中関係を考える」の続編です。

部会員の中に、親が旧満洲国から引き揚げて来られた方がいて、満洲国の歴史に詳しい峰毅講師（東京大学社会科学研究所・経済学博士）に、さらに満洲国に焦点を当てた再度の講演をお願いしたところ、承諾を得、実現しました。

今回の講演は、前回のフォーラム3階のホールではなく敢えて4階の学習室で行われました。その結果、講演後に時間的余裕ができ、活発な質疑応答等がで

きました。

また講演では、戦前の日本が満洲国に建設した大規模な超高压電線網を始めとする様々な開発経済的で周到・緻密な投資があり、それが新中国に継承された歴史が紹介されました。戦前の満洲国での日本の経営は侵略的であったことに多くの人は異論はないでしょうが、欧米型の収奪的植民地経営とはやや趣きの異なる本気の「開発経済」の試みでもあったと言う事実が、聴いていた市民にもよく理解されたのではないのでしょうか。

国際理解部会 丸山



前回に引き続き、峰先生の講演は好評でした



会場は満席でした

外国人のための専門家無料相談会

今年2回目の「外国人のための専門家無料相談会」が、8月26日（日）に国際交流センターで開かれました。この相談会には、通訳が付いて無料であることに加え、外国対応の実務経験が豊富な専門家による的確なアドバイスが得られる利点があります。また、弁護士、行政書士、社会保険労務士、市役所などの専門家が一堂に会しているので、複数の専門分野にかかる問題を抱えていても、ワンストップで相談、解決できるという特徴もあります。今まで、懇切丁寧なアドバイスが受けられたと、多くの方々から感謝の言葉を頂いています。

普段、木曜と土曜に開いている生活相談にも、様々な問題を抱えた方々が訪れます。相談の内容は、在留

資格、就労、社会保障、家族関係、住居、教育、医療など多岐にわたります。時には、日本で生まれ育った私などの想像を超える現実を聞くこともあります。一人の人間が経験することは、この世のごく一部であることを改めて痛感するとともに、これからの日本の社会の在り方についても考えさせられる今日この頃です。

暗い表情で相談に見えられた方が、晴れやかな笑顔で帰られると、こちらも幸せな気持ちになります。日本で暮らす外国の方々が、日本社会の一員として充実した生活を送れるよう、微力を尽くしていきたいと思っています。

外国人相談部会 小川 正義

国際大会でボランティアが大活躍！

昨年、日本で初開催されたパラバドミントン世界大会、2回目の今年も町田で開催となり、15か国194名の代表選手たちの熱戦が繰り広げられました。その舞台の裏で、多くの市民ボランティアが選手や大会の運営を支えていたことをみなさんをご存知ですか？国際大会では欠かせない会場での通訳、町田国際交流センターのボランティアと桜美林大学の学生ボランティアのパワーがこの大会を一層盛り上げてくれました。

ロビーでは、茶道、着付け、書道、生け花など、伝統的な日本文化を肌で感じられる体験コーナーが設けられ、たくさんの選手や来場者で賑わいました。

着付け体験では初めて着物を着た人がほとんどで、車椅子で来たタイの選手は自分の着物姿に大喜びでタイ式のあいさつでお礼を言ってくれました。

レストランでは外国の選手たちにメニューや食材に

ついて多言語で案内、説明もしました。今年は2年目ということもあり、レストラン側との連絡などもスムーズに行えたそうです。選手たちがとまどうことなく昼食がとれるよう、言葉のサポートと笑顔あふれる心遣いで、皆リラックスして食事を楽しんでいました。

ロビーで中国語の通訳を担当していた留学生たちは「初めてのボランティア体験です。身体が不自由でもアスリートとして一生懸命がんばる選手たちを見て、本当に感動したし尊敬します。2020年の東京オリンピックでもぜひ通訳ボランティアをしたいですね。」と語り、その姿がとても頼もしく感じられました。

笑顔と真心に支えられた5日間の大会は、選手たちにとってもバドミントンの試合だけでなく、市民と直に触れ合えた国際交流の場ともなったようです。

岡村 眞理



韓国選手団に食材の説明をする通訳ボランティア



会場の様子



選手の着付け体験

子ども国際理解体験

8月20日(月)に、「普段食べているものが世界の様々な国から来ていることを知り、自分と世界のつながりを意識すること」を目的に、小学校低学年を対象とした国際理解体験ワークショップを開催しました。参加者数は、21名でした。

ワークショップでは、1) いろいろな国と、食べ物、あいさつを合わせる世界一周ゲーム、2) お昼に食べたものから、それらの食材がどこから来ているのか考える活動、3) ピザにトッピングしてある食材がどこから来ているのか考え、地図を使ってその場所を確認する活動という流れで行いました。ワークショップの

最後に「なぜ普段食べているものが遠い国から来ているのだと思う」と問いかけたところ、少し難しいように答えは出ませんでした。今後の生活で、食材を見たり、食べたりする時に、このワークショップの内容を思い出したり、世界とのつながりを意識したりするのではないかと思います。

ワークショップの後に食材の飾りを使ったモビールをつくりました。細かい作業に苦労している場面もありましたが、子どもたちはみんな熱心に取り組み、できあがるととてもうれしそうにしていました。

国際理解部会 福島 智子



たくさんの子どもが参加しました。



決められた国の言葉を探します。



どの国の料理か、わかるかな？



最後はモビールを作りました。

夏休みキッズ英語

毎年恒例となりました“夏休みキッズ英語”は、小学生を対象に8月20日～23日の3日間、A・Bコース（低学年／小1～3）41名、C・Dコース（高学年／小4～6）18名という4クラスに分けて、開催しました。夏休みキッズ英語は、小学校教育でも積極的に取り上げつつある英語に慣れ親しむこと、楽しく英語でコミュニケーションをとることを目標にしています。

今回は、音楽や映像にあわせて、体を動かしながらいろいろな単語を表現しました。子どもたちは、大きな声で歌い、元気に楽しんでいました。

英語の絵本も読みました。いろいろな生き物になりたいカメレオン。本の内容に合わせてホワイトボード

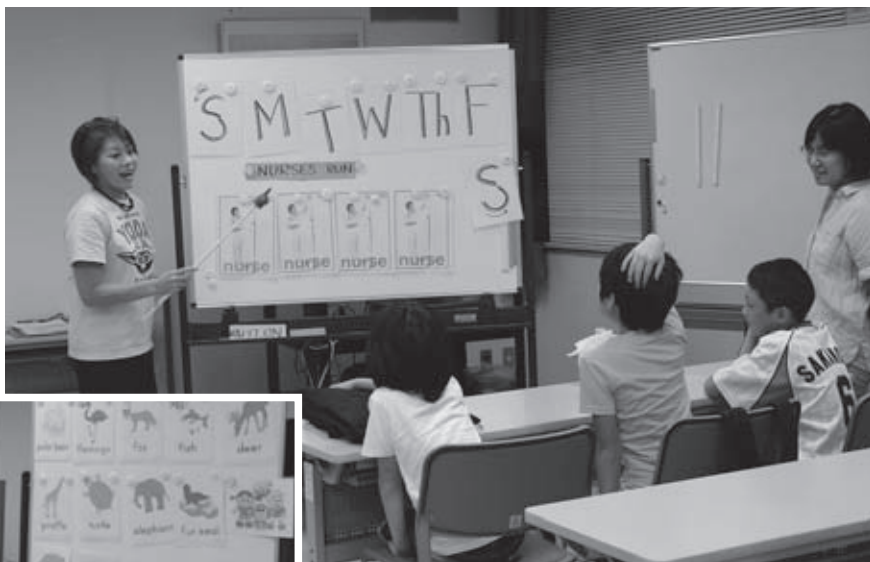
のカメレオンに、羽や足など、別の動物の絵を組み合わせていきます。どんな動物の絵を付けるか、もちろん英語で発言してから付け加えます。

最後は動物の絵にボールを投げます。英語で動物の名前を言ってから、投げます。絵の裏には点数が書いてあり、皆で点数を競いました。

最初は恥ずかしくて、発話できない子どもたちもいましたが、最後はみんな元気に盛り上がっていました。

このような様々な経験を積んで、いろいろな国の人とコミュニケーションができるようになってほしいです。

事務所 小川 剛彦



積極的に手を上げます。



多くの子どもたちが、楽しく英語を体験できました。

編集後記

毎週のようにやってくる週末台風もやっとおさまったでしょうか。災害大国となった日本です。都市部交通網の計画運休など、あまり経験したことがない対策もとられました。確かに運休が早くからわかっていたら外出を控える、早く帰宅するなど私たちの方の対応もできますよね。こんな中、先日、フィリピンの方からこんな話をききました。「計画運休の情報は知らずに、買い物に出かけました。食事をしようと楽しみにしていたレストランへ行くと「6時までです」と言われ仕方なくファストフードでたべました。お店もみんなしまっていてしまい、つまらなかったです。放送で何かいっていたが、日本語で何もわかりませんでした。やることがないので早く帰宅したので電車は動いていました。」こんな時の情報の伝達はどうすればいいのでしょうか。今一度見直す機会になってほしいものです。

生涯学習センター まちだ市民大学HATS「環境講座」

2050年の地球環境と市民生活を考える ー未来をどう捉え、何を守り、どう楽しむかー

ご存知ですか？エネルギー問題、地球の気候変動を抑えるパリ協定、温暖化懐疑論。地球環境に関する長期的な課題について、わかりやすくお話しします。

講 師 安井 至 氏

(東京大学名誉教授、元国連大学副学長)

日 時 11月25日 (日) 14:00～16:00 (13:30開場)

会 場 生涯学習センター 7階 ホール

町田市原町田6-8-1

(レミィ町田 (旧109MACHIDA) のあるビル)

対 象 どなたでも

定 員 120名 (申込順)

費 用 無料

申 込 10月17日 (水) 正午から受付開始。町田市ホームページのイベント申込システム「イベシス」での申込、または電話で町田市イベントダイヤル (042-724-5656) へ。



問 い 合 わ せ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日 (祝日の場合は翌日) および年末年始 (12月29日～1月3日)



ホームページをご覧ください!!

アドレス <http://www.machida-kokusai.jp>

新しい情報がいっぱい!!

町田国際交流センターのホームページでは、センターが主催する講演会や外国人向けの相談会のお知らせのほか最新の情報を提供しています。

また外国語版のページでは、「日本語教室」など、外国人の方々が地域で暮らすのに必要な情報を英語で提供しています。

今後も楽しいコンテンツづくりを目指していきます。是非、ご活用ください。

(一財) 町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330

<http://www.machida-kokusai.jp>

E-mail: info@machida-kokusai.jp

事務局からのご案内・募集

第16回 留学生トークプラザ 留学生の思いを聞いてみませんか ～留学生による意見発表会～



今年も町田市内及び近隣の大学で勉強している留学生に、日本の印象、日々の勉強、将来の夢、日常生活を通して体験したことなどを日本語で発表して頂きます。発表終了後、留学生との意見交換の時間を用意しています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

■日 時：11月18日(日) 14:00～17:00 (開場 13:30)

■会 場：町田国際交流センター ■参加費：無料

■申し込み：①住所 ②氏名 ③電話番号 ④参加人数をご記入ください。

はがき／〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4階 町田国際交流センター宛
FAX／042-722-5330

ホームページ／www.machida-kokusai.jp

受付確認のお知らせはお送り致しません。

直接会場へお越しください。

■主 催：一般財団法人 町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター (担当：国際理解部会)
TEL：042-722-4260

■後 援：町田市



小学生のための国際理解体験 ～遊びながら世界の国を知ろう！～

ゲームをしながら世界の貿易の仕組みを楽しく学ぼう！ビーズを使った国旗づくりもあるよ！

日本は、いろいろな国と貿易をしています。ゲームをしながら、楽しく自由貿易の仕組みを学びませんか？

■日 時：12月27日(木) 13:30～16:00

■会 場：町田市民フォーラム4階 国際交流センター講習室

■定 員：20名 ■参加費：300円 ■対 象：小学4～6年生

■申し込み：往復ハガキに氏名、ふりがな、学校名、学年、

保護者名、住所、電話番号を記載して、

〒194-0013 町田市原町田4-9-8

町田市民フォーラム4F

町田国際交流センター「小学生の国際理解」係まで

お申し込みください。

12月11日必着。申込多数の場合は抽選。

■主催・お問合せ：町田国際交流センター TEL：042-722-4260 (担当：国際理解部会)



「町田国際交流センターの活動を紹介する、オリエンテーション」に参加してみませんか？

町田国際交流センターでは、一年を通し、国際交流パーティー、日本語教室、外国語サークル、外国人相談、講演会など、様々な活動をしています。いったいどのような内容なのか、各活動を担っているボランティアが紹介します。是非、ご参加下さい。

■日 時：2019年1月20日(日) 14:00～16:00 (15:30受付終了)

■内 容：町田国際交流センターの活動紹介、ボランティア部会の紹介

■会 場：町田国際交流センター

■対 象：高校生以上の方

■費 用：無料

■申し込み：不要。直接町田国際交流センターにお越し下さい。

TEL：042-722-4260

